

Title	<技術報告>音声合成エンジン(Microsoft Speech Platform)を使用する上での工夫
Author(s)	川崎, 慎吾
Citation	技術室報告 (2018), 19
Issue Date	2018-06
URL	http://hdl.handle.net/2433/233577
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

音声合成エンジン(Microsoft Speech Platform)を使用する上 での工夫

川崎慎吾

はじめに

- 見学者向けの施設紹介ビデオに、音声合成エンジン(Microsoft Speech Platform)を用いてナレーションを挿入した。
- アクセント&イントネーションへの違和感や誤読が生じたため、工夫を凝らした。

誤読への対処

- 単語の読み方を登録する

例:「JMA神戸波」

(「JMAこうべなみ」と発音してしまう)

アクセントまたはイントネーションへの対処

- 読み上げ速度と声の高さを変える
- 漢字をひらがなにする
- ひらがなをカタカナにする
- 英単語にする

読み上げ速度と声の高さを変える

例:「こちらも同様に兵庫県南部地震の100%の揺れを入力しましたが、試験体にめだった損傷はありませんでした。」

読み上げ速度を上げ、声の高さを高くすることで聞き取りやすくなる。

漢字をひらがなにする

「こちらも同様に兵庫県南部地震の100%の揺れを入力しましたが、試験体にめだった損傷はありませんでした。」



「こちらも同様に兵庫県南部地震の100%のゆれを入力しましたが、試験体にめだった損傷はありませんでした。」

ひらがなをカタカナにする

「こちらも同様に兵庫県南部地震の100%のゆれを入力しましたが、試験体にめだった損傷はありませんでした。」



「こちらも同様に兵庫県南部地震の100%のゆれを入力しましたが、試験体にめだっタ損傷はありませんでした。」

英単語にする

「ツぎは、実験ではありませんが、宇治キャンパスで毎年10月に開催されている、オープンキャンパス時の映像です。」



「ツぎは、実験ではありませんが、宇治キャンパスで毎年10月に開催されている、open campus時の映像です。」

終わりに

- 工夫を凝らすことで違和感や誤読を解消することができる。
- 人によってアクセント&イントネーションの違和感の感じ方が異なるため、他人に音声を聞かせてフィードバックを得ることが重要。